日米

THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT
650 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO CALIFORNIA
PHONE: PROSPECT 0239-0239
ENTERED AT S. F. POST OFFICE
AS SECOND CLASS MATTER
K. ABIKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES
IN ADVANCE
DAILY.....ONE YEAR..... $11.00
DAILY.....SIX MONTHS..... 5.50
DAILY.....ONE MONTH..... 1.00
SINGLE COPIES..... 5 CENTS

CALIFORNIA STATE LIBRARY

四米

人氣轉換と景氣の好轉

米國の景氣は果して何處へ赴くか。昨年の株界大暴落で、米國の繁榮に、大きな汚點を殘したが、一月以來四月中旬までの約束速なる株式相場騰貴で漸く眉を開いた觀があつた。所が春季ビジネス界の好轉も、夏ガレ期に入つた今日、株界の不安、高率關稅の實施、株式相場の連日下落から、遂に株は殆んど昨年十一月のドン底に近いまでの安値まで落込んでゐる。

▽

株式は會社の財産の代表してゐる一種の證券である。隨つて證券相場の下落は、會社の財産價値の低下は、それだけ、各自が貧しくなつたのであるから、株價の下落によつて、一般の購買力が低下したのは明かな所である。

ビジネス界の振興を書するものは、一般の購買力減退が、最も悪いから、株價の暴落は、財界の好轉に対して非常なる有害をかもしてゐるわけであるから、執政當局も、財界の不況に對して、憂慮してゐるのである。

▽

株價はビジネス界のバロメーターとなつてゐる。ビジネス界が好況にむかねば、必ずや、株界も活動を開始するものであるから、ビジネス界の好轉といふパワフルなかつたら、如何に有力な資本圓が株價を吊上ようとした所で、所詮空しく終るは明らかな處である。故にビジネス界と株界とは、再々相まつて繁榮に導くものであつて、その意味から、兩者の關係は密接不離な狀態にあると言ひ

△

米國の株界が目下不振のドン底にあるが、これが根本の原因及米山の四選手は八百メートルはビジネス界が不振にあるから、リレーにおいて九分三十秒ボイ

各自の所有してゐる財産價値の低下は、それだけ、各自が貧しくなつたのであるから、株價の下落によつて、一般の購買力が低下したのは明かな所である。

△

株價は、會社の財産の代表してゐる一種の證券である。隨つて證券相場の下落は、會社の財産價値の低下を、株價は、一般の購買力の低落は、種々な影響を受けて、財産が價らす利益率が低落したからであつて、利益が價らさぬ財産は、一種の死物とも見做るから、一般の評價が低落したのは、その證券が代表してゐる財産内容および効用價値に對して、重大なる變化が生じたのである。

△

株價の下落はあろ程度までいかんとも出來ない。ことにビジネス界が全世界的に不況で、不景氣風の吹き荒れてゐる時であるから、米國のみが、この大勢に抗する得なかつたともいひ難い。

△

物價は下落、支那は內亂に日本は饑の祟り、放慢な國の有樣で、要するに、米國も不景氣風に吹き込まれたのである。

△

然ば、何時この不景氣が恢復傾向に向ふか。株式に對する買氣が大いに擡頭して來た時こそ、即ちビジネス界好轉の機となつて、譯である。物價の騰潮この邊ドン底入れと見做るやう、極度に買控へてゐた官需の買氣依然起り、こゝが人氣の轉換なるのであらう。人氣轉換とならば、ビジネスの代表者たる株界に最初に之が反映し急激なる人氣沸騰は免れ難き所である。

△

株界は目下不振のドン底にあるが、これが根本の原因及米山の四選手は八百メートルはビジネス界が不振にあるから、リレーにおいて九分三十秒ボイ

先づ暗礁に乘り上げた來年度節約豫算の編成

陸軍省は五百萬圓を爭奪し海軍側は三百五十萬圓爭ふ

不公平だと押問答

（東京支社廿三日特電）大藏省では愈々來年度豫算案の編成に着手し、節約徹底を期する大々的節約豫算を編成中であつたが、大藏省側の節約による立案によれば、陸軍省豫算節約額の三分の一たる五百萬圓の爭奪をなし、海軍省は節約額の五分の一たる三百五十萬圓で爭ひ、大藏、陸軍、海軍三省の間に、目下押問答を演じ、豫算編成は一種の暗礁に乘りあげて居る。前電のごとく阿部次官は速に軍制改革は行ふが、根本を動かすやうな省定には應ぜぬとダメを押して居る位であるから、陸軍大臣節約には大なる支障が横たはつて居る譯で、しかし一般の輿論は、陸軍が最も節減額が出來ると見て居るので、政府としても、陸軍豫算で大節約を斷行しなければ所詮無能呼ばわりされ、國民の信頼を失墜する結果となるから、陸軍省側が頑張れば頑張るほど政府は苦境に陥る譯である。

八千萬圓節約不能なら

財政の基礎は破綻と悲觀さる

（東京廿三日電通）陸海軍に御諚で四千五百萬圓の節約要求を所省側と二御相度し承認し奪ぬと主張してゐるので大藏省側では足づりしてゐるが、讓歩せざれば、八千萬圓の大節約案は半分內外に縮少され、財政の破綻は免れまじと見なされてゐる。

ロンドン條約の批准を樂觀す

補充計畫を重要視

今月中には終了と觀測

（東京廿三日電通）政府はロンドン四とい新レコードを出し（東京廿三日電通）政府はロンドン會議の批准を樂觀してゐたがこれはアンステルダムにおいて開かれた國際オリンピックゲームのレコードを破つた

故武子女史の夫が大醜態

（東京廿三日電通）故九條武子女史の夫たりし九條良致男は醉拂つて京濱電車の運轉手と喧嘩し全治十日間の傷を負はせた大醜態を演じた

國產品を奬勵

（東京廿三日電通）鐵道省では外國所有の特許權機械の購入を中止して國產品を奬勵する答

久邇宮王子ピアノ御天才

（東京廿三日電通）久邇宮宗彥王子は學習院でピアノ、コンサートで演奏、その天才を認められた。

早大水泳選手新記錄

（東京廿三日電通）早稻田大學水泳選手の宮木、武林、清正の四選手は八百メートルにおいて九分三十秒ボイ

南極探險隊長バード少將故鄉に入る

（ウインチスタ廿二日）過日ユーヨークに歸つた南極探險隊バード少將一行はユーヨーク、華府市において大歡迎を受け、華府市は特に名譽賞を與へられ、紐育の光榮を擔ふた

失業問題

ワグナー案下院で修正

（華府廿二日合同）上院議員ワグナー氏が失業問題解決のため公共事業案を提出し、既に上院は通過、目下院法務委員會で審議中であるが、ワグナーの原案が著しく修正されて骨抜きの案となつてゐるといふので、ワグナー氏は通常議會の閉會次第、臨時議會を召集する意志を發表してゐるから、可成上院で波瀾を惹起した同條約も、行政府の希望通り批准されることであらう。

尤も同條約の批准に極力反對してゐた加州選出のジョンソン議員やモッタ州選出の勞働黨議員シプステアド氏は參議院の同條約反對案を上院へ報告するであらうと發表し、最後まで批准反對に戰ふ意志を發表したから批准は確實とはいふものの、少數の波瀾は免れないと見られてゐる。

佛國は失業無く ドイツは多し

（パリー廿三日合同）歐洲の各國はほとんどその國が、戰後の失業問題に悩みぬいてゐると發表されてゐる

百六十萬圓借入れ 吏員の慰勞手當

行詰つた東京の窮乏

（東京支社廿三日特電）東京市は來年上半期に一億の實質的政治費を計上し、未だ全然計されてゐない動機に、一部の實績的政治費を計上し、未だ全然計されてゐない動機に、一部の實績的政治費を計上し、未だ全然計されてゐない動機に、一部の實績

今年八月末櫻府に開會の 加州博覽會に

フーバー夫妻招待の使者として華府に行く娘

(サクラメント廿二日)一九二九年加州博覽會にフーバー大統領夫妻を招待することになつて居るこの招待の使者として他には州の印象がほりにして他には州の印象が押つけられてゐるミス、ペチ、ヒンゼールといふ娘さんが選ばれた、同嬢はサクラメントの檢事でフーバー氏の親友同盟員であつた故レスター、ヒンゼール氏の令嬢で形見である、嬢は母に伴はれて汽船カリフォルニア號に乘り去る十日紐育に向つて桑港を出發した、新くて紐育から華府へ汽車で行く筈である、同嬢の携へた大統領への招待狀が押つてシンボルであるレッドウッド三〇年加州博覽會のシンボルであるレッドウッド樹の材の片面に次の如き文字が浮び出てゐる、「加州は大統領夫妻を招待するこの招待の使者として」

(モスコウ廿二日)殖き百の國政を悉く中央集權となし來たら民やを輩を代表して三千のソビエトとする議會が露國の各方面エフト代表者等が露國の各方面から集り來週水曜日から莫地クレムリン宮に會議を開く事となつて以來始めての試みで

スタリン執政以來始ての ソビエト議會

全國三千の代表を集めて

中央政府長官スタリンの政策や方針に關し十分說明がある筈である、スタリンがいかに鐵腕のもち主であるかは世界に知たわたつてゐる、其のことは森に去る三月彼が各村落の官吏、高員等の職權を停止し農事行

新總領事若杉氏 愈々けふ來桑する

午後四時半フエリー着 直ちにラグナ街官邸に 明日より登聽執務

・新任總領事若杉要氏並びに夫人令嬢の一行は愈々本日午後四時半桑港フエリー着直ちにラグナ街官邸に入る事となつて居るこの通去三月和總領事代理として多忙な日時を送つた金子副領事は明日中にすつかりと事務を整理し總領事令嬢の引次準備を完了し同時に官邸の方をひきあけ一先づホテル住居をすることゝなつた若杉氏は着桑當日は休憩翌日紐蘭金子總領事代理と事務引次をなし更に各方面に新任挨拶をする筈である

年々安くなる 電力代金

丁度貨幣と正反對の傾向だ

『貨幣の購買力が年々共に減少してゐることは說明するまでもない、一九一四年に於ける一弗の貨幣價値は今日では五十八仙にしか當らない。處がその當時の電力價値は今日では五十八仙

書架のほとり(二)

―最近讀んだもの一三―

井上勇

クレマンソオ遺書『勝利の偉大と悲慘』(ロ)

第二段において、クレ翁はベルサイユ條約について、主としてアイランド獨立問題に關し、ポアンカレーおよびフオシの主張―即ちライン、ランドは獨立を希望してゐた、何故にこれを獨立せしめて獨佛の緩衝地帶たらしめなかつたかと論がいかに事實を無視し、事態を曲解し、謬論じあるかをのべ第三段において、ベルサイユ條約が、アメリカの批准拒絕、米國單獨和平條約、ドウズ案、ロカルノ條約、ヤングー案を次第にその原形と精神を失なうて、しかもそれがフランスの讓歩によりてなされた經過を論述し、ブリアンの所謂「國際協調主義」の外交がその實質、フランスをドイツに賣り、獨國外交、屈辱外交であることを指摘、そのためにフランスは如何に高價な代償を拂つたかを說明し、例のマタ、アリ事件で國を追はれたマルヴリーをブリアンが捨てゝ顧みなかつたなど實國の歷然たる證據だと毒づいてゐる。

この書一卷、中に聯合軍の總司令官にフオシ元帥を任命するにいたつた、英伊白の內幕など史實として貴重な資料も多々あるが、その價値の大半はもとより一代の國士であつたクレマンソオの愛國の熱情が頁一頁にまで漲りあふれる點にある。彼がまさに政界にあつて、しかも國論の外交に賣國外交、屈辱外交の前に挫へて如何に戰つたかその鬪志の烈々たるを見るにある。餘は暫く、これをおけ殊に最後の一章「無名兵士」に據る文を讀むも胸が涙なきを得ない。日本の政界の士にして果して誰か、この詩人の暫人ありや。

クレマンソオは又、ベルサイユ會議につき「ルーブル」紙上に、この暫人にして、この詩人の暫人ありや。

クレマンソオは又、ベルサイユ會議につき「ルーブル」紙上に、アフコラスの門に余と共に法律を學んだ同窓の友、ウエルソンが、ふと沈默を破つて、「思想の夕」に「餘」のクレマンソオ―それが彼の生涯の本領だつた!―を見ることもよかろう。

(Grandeur et Misere d'une Victoire by G. Clemenceau, Ed. Plon, Paris: 30 fr.)

是々非々

サンデー第二世が生れたといふので英字紙は大騷ぎ、大きなヘッドラインでフロントページにでか〳〵と戰せてゐるのは餘りに誇張的だ

▲

「飛ばんか―!」と每日天候をすかめてゐた東飛行士が愈々飛べてアリゾナまでこぎつけた、先づお目出たい

▲

中國新聞報道曰「私から在米同胞に絕調ちやないお願ひです」と是々非々子の言葉をそのまゝ返へした萬事其の調子々々

▲

第二世の告別演說するもの鄭々まことに詩情至極には相違ないが乏れだけで慢心しては

イケぬ、學校を出てからが肝心だといふことを忘れるな

▲

新總領事若杉さん、けふ着任すると、吾等は眞心より歡迎するもの

▲

桑港は由來、大食い所といふことだ、だがそれだけ働き甲斐もある譯シカも頼るまるよ

アトラン市長 衝突慘死

(アブセコン廿三日)本日アトランティック市長ラフフ市議員サイラキュザ兩氏が二人の婦人と共に自動車にのつて當地の踏切を通過の際汽車と衝突四人共慘死をとげた、ラフフ市長の身元は其所有の書類によつて明つた

長者の息子結婚

(フィラデルヒヤ廿二日合同)ロックフェラー氏の第二番目の息子ジョンキソン、アルドリッチさんは、メリイ、トッドハンター嬢と二十三日午後當市で結婚式をあげる。御曹子は本年とつて二十二才で、今年ダートマウンス大學を出たてのホヤ―である。大學を出たてのホヤ―及び、新婚旅行後は、親父さんの石油會社へ入ることになつてゐる

市電一週間の 收入金調べ

市電の先週中の收入金額は六萬四千七百五十六弗で此を日々

バード生家を訪れる

郷民熱狂してこれを迎ふ

―涙ぐましい一家團欒―

(華府廿二日合同)南極を征服して紐育全市民の熱狂的歡迎を受けてゐる、そしてそれこそ裡に入港したバード少將の探險隊はその後公私の歡迎攻めにあつてゐるが、當のバード少將は幼き昔「ディック」の名前で通り氏、それから氏の兄弟等はそれ〴〵、各の家庭より生家に歸り、團欒に浸つてゐる。本日午後三時半には一家揃つて、ハンドレイ、ハイスクールの新講會に出席し、マクファデン牧師の祝禱をうけた

空路を開拓した、郷兒

貧民に 古着を送る

女子青年會で

當地日本婦人女子青年會では神戸の賀川豐彥氏宛に貧民救濟に寄贈する目的で本年も古着の募集をあり同時に沖縄出身の樓主である、寄贈者は青年會の

沖縄の當山翁 銅像を建設

期成會より

沖縄縣海外移民の先覺者故當山久三翁の銅像を建設するにつき在米の同縣出身者實傳者本社に同縣圖郡金武村役場內故當山翁の銅像建設期成會より依頼して來た、銅像は七月下旬までに製作し八月中旬に起工式をあげ同時に工事に着手し同村の山入に沖縄縣海外移民會社の區內の適當の場所に建設されるこの計算に見ると日曜五、五三〇弗、月曜一萬三四弗、六、九八三百弗、水一萬六〇弗、木一萬五九弗、金九、八五六弗土九、三九四弗

〈日米要求〉

要求廣告料金

最初三四日目より一行一仙 四日目より一行一日 一週間一行一日 八日目より一行一仙

〈人事欄〉

名醫紹介 桑港ジョンソン街二〇七六 電話ウエスト一七三八

山崎靜子 英語通譯 入用の人は電話にて御通知下さい

求職 日米新聞社

求職 日英兩語に通じる婦人伝公認桑港女子青年會

藥劑師 經驗ある藥劑師募集 桑港ポスト街一五九四 大阪藥店

各科專門醫 紹介通譯 桑港ポスト街一五九四 大阪藥店

ピアノ 音樂教師出張も致升 電話フィルモア五二六三 村田

配達ボーイ 入用 但し自轉車所持の人を望む番號者は日米新聞社市丸宛

ボーイ 入用自動車使(ある人 桑港 金門商會

ダンス 若き有爲人物也に計 交ダンスを教授す 22172, Fine St. (Walnut 2714)

教授 英語、日本語、セアノ、 &文、小學校の補習科目 1726 Sutter St. (Fillmore 2352)

〈賣物〉

賣物 アーサーガストマ附家具玉金袋課度クレーガ 電話ウエスト九〇五〇

〈賃貸〉

賃貸 二階一七電話ウエスト九〇五〇

水店 讓度モアエスト市內ハイウエに沿目投の場所住宅附家賃格安長期ヶ歸國に付實度詳細左記照會モアエスト市第六街六〇三番二七九一 久條共益社

最新 式二室アパート、フツシュ街二〇五五田村ホテル

賃貸 日當り好しラクナ街一六一八 街一四三〇―三二井

賃貸 日當り良クッチン附きゲ 街一四三〇―三二井

賃貸 室內新しく四室六室及び七室各家安價に貸した

賃貸 日當好き最新式四室及三室の各室 有照會はポスト街 魚寫商會

賣家 五室ツリーの屋敷廣大七〇〇〇 巢樹其他二八八 五〇弗王府アーカンサス街三二四 一持主夢旗パウウニア街一七三四

賣物 具共王金袋課度クレーガ 電話ウエスト九〇五〇

賣家 五室ツリーの屋敷廣大七〇〇〇 巢樹其他二八八 五〇弗王府アーカンサス街三二四 一持主夢旗パウウニア街一七三四

賃貸 二階ロット二室續き 比島人の球場、經營者急く遊師に つき極く安價で貸度し、希望者は櫻府エル街三一七番まで

球場 比島人の球場、經營者急く遊師に つき極く安價で貸度し、希望者は櫻府エル街三一七番まで

ルーム 日當り良クッチン附日當良キ ミシン實物、櫻府日本人街目抜の場所、師團に就き 街一四三〇―三二井

賃貸 日當り好しラクナ街一六一八 街一四三〇―三二井

賃貸 室內新しく四室六室及び 七室各家安價に貸した

賃貸 日當良キ最新式四室及 街一四三〇―三二井

賃貸 日當り好しラクナ街一六一八 街一四三〇―三二井

賃貸 日當よき二室ケッチン附 居被のまゝ家具譲りたしオリーブ 街五八〇電話ウオルナット七二六四

賃貸 フルロット二室續き 別に一室あり サンター街一七二

賃貸 日當よき二室ケッチン附 きて度サンター街一六五八八

賃貸 日當よき二室ケッチン附 面會は午後五時後

賃家 六室ツリーフロアー二八八 ブキャナン街一八七六

賃貸 二室ケッチン附日當良キ ミシカゴ街二四六一

賃貸 日當り良キ二室ケッチン附 ブキャナン街一八七六

賃貸 日當り良キ二室ケッチン附 ブキャナン街一六五八八

賃貸 日當り良キ二室ケッチン附 ブキャナン街一七四七

第二世生る

一ケ月前から記者連が門前に詰めかけ大騒ぎ

（エングルウッド廿二日）リンドバーグ大佐夫人は本日午後石皿肉をわけた赤ちゃんだけに二時三十二分無事玉のやうな男子を生んだ。分娩夫人のお父さんのモロー大使は殊の外大佐夫妻を愛してゐるので分娩室はるまで、滞一ケ月間、新聞記者連は毎日モロー邸の門先に座りこみ、紐育から興味を惹かぬ大佐も、流石に世の中に出たのも面白いから意々もつて人騒がせなお坊ちゃんである。紐育から三週間前にモロー邸へ來て、アンドバーグと名付けられた。モローン夫人を看護してゐたハーバーグと名付けられた。モローン夫人を看護してゐたハーバーグ医師は、母子ともに健全と発表してゐる。飛行機以外のものには、て（寫眞はリンドバーグ氏夫妻）

坊ちゃん

の名前はチャールス・オウガスタス・リンドバーグと名付けられた。モローン夫人を看護してゐたハーバーグ医師は、母子ともに健全と発表してゐる。飛行機以外のものには、て（寫眞はリンドバーグ氏夫妻）

肖像畫の名人酒井畫伯

二日間で完成

五十分間で粗畫を造る神技

本社長の畫が立派に出來た

過日所報の通り目下當地加州ホテルに滞在中の酒井畫伯は肖像畫の名人で珍らしい技能を其の方面に發揮してゐる「凡そ畫の中に肖像畫ほどむつかしいものはない。自分を全くなくして相手の畫像を描くといふ事は、苦心を語る「二時間畫といふものは作家の主觀を對照の上に寫すもので、自分の内にある理想や個性や對象に對する愛憎心が自ら表現される、それが畫道の面白い處であり又一つはやり易過ぎて所謂俗人に

桑港市況 六月 廿三日

今朝市況は 概して鈍く 一般に持合ひ トメト手堅し

▲概況 野菜外れの寒風に煽られて市場明けの市況は比較的鈍くして見るべき程の動きを見せず、ベリー類はエーブリカットは稍上向となり、ピンズは先週来の八加にて取引かれた持合、レタースは多少スローにて良好にしてマルセド物手堅く南加物一般に平

▲ピンズ グリーンピンズは軟調にしてクシタッキー種は斤四仙より四仙、地方物五仙より七仙、ガーデンピンズは斤五仙より

野菜類

ルセド物手堅く南加物一般に平凡と見る

▲エーブリカット 近来入荷南加物一方にして需要は平凡にして地方物六仙より八仙、コーヒエラ物斤四仙より六仙にてスロー

▲エグプラント エグプラントは平凡にして地方物六仙より八仙、コーヒエラ物斤四仙より六仙にてスロー

▲ビーピーは概して手堅く斤六仙より八仙、上物箱詰上物斤三仙より四仙

▲スピニッチ 地方物箱詰にて賣捌かれたブーア物は三仙より四仙

▲スクワシ スクワシは一般に需要減じスチニ種はラグ五十仙、ブーア物一弗六十仙、飛切物五仙より一弗、飛切物五仙、地方良質物は多少良好、八十五仙より一弗、地方スカーラップ種は五十仙より一弗にてペーパー物は卅五仙より四

▲トメト トメトは市場に多量に積まれて南加物クレート五十仙より八十五仙、マルセド物一弗、地方物クレート二弗、悪質物六十仙より一弗

▲アスパラガス 卅五チエスト入荷卅五仙より四十仙、悪質物卅五仙より四十仙、

▲ブラックベリー 卅五チエスト入荷六十仙、三百十七クレート入荷六十仙、四百六十四クレート入荷してクレート七十五仙より一弗にてスロー

▲ラスベリー ラスベリーは入荷相當にあり五十八チエスト千四百六十四クレート入荷してクレート七十五仙より一弗にて市況は平凡、ロガンベリーは六十一チエスト八百廿七クレートにて七十五仙より八十五仙で取引かれた

▲ヤングベリー ウイークにて七十五仙より九十仙で賣捌かれた

▲オウターメロン 今朝箱手堅くして商況多少あり斤二仙

▲フイグ 南加物の入荷多量にしてフラットは卅仙より五十仙ラグ一弗より一弗廿五仙で平凡に終る

▲チエリー チエリー市況は手堅くして、ローヤルアン種は斤九仙より十二仙、ビング種は斤十五仙より十九仙、ブーア物八仙フラットは六仙より八仙

▲ピーチ ピーチはウイークにて六十弗より一弗

▲キャンタループ 市價の開き大にしてジャムボーは三弗五十仙より四弗、スタシガードは弗五十仙より三弗、中加物スタンダード二弗五十仙より二弗五十仙、中加物スタンダード三弗五十仙、ボニー一弗七十五仙より二弗五十仙より三弗五十仙

▲グレープ 帝原よりのタムソンシードレスはスローにして斤十二仙より十四仙

▲レモン レモンは軟調にして六弗より七弗廿五仙

▲オレンジ ヴァレンシア種は各サイズを通じて六弗より七廿五仙内外と見た

▲ピンズ グリーンピンズは軟調にしてクシタッキー種は斤三仙、地方物五仙より七仙、ガーデンピンズは斤五仙より八加にて取引かれた

▲コーン アラメダ物市價軟調にして手堅く一弗七十五仙より二弗廿五仙位

▲ビーピー 概して手堅く斤六仙より八仙、上物箱詰上物斤三仙より四仙

▲スピニッチ 地方物箱詰にて賣捌かれたブーア物は三仙

▲エグプラント エグプラントは平凡にして地方物六仙より八仙、コーヒエラ物斤四仙より六仙

▲ビーピー 概して手堅く斤六仙より八仙、上物箱詰上物斤三仙より四仙

▲スピニッチ 地方物箱詰にて賣捌かれたブーア物は三仙

▲スクワシ スクワシは一般に需要減じスチニ種はラグ五十仙、ブーア物一弗六十仙、飛切物五仙より一弗、地方良質物は多少良好、八十五仙より一弗、地方スカーラップ種は五十仙より一弗にてペーパー物は卅五仙より四

▲トメト トメトは市場に多量に積まれて南加物クレート五十仙より八十五仙、マルセド物一弗、地方物クレート二弗、悪質物六十仙より一弗

▲アスパラガス 卅五チエスト入荷卅五仙より四十仙、悪質物卅五仙より四十仙、

▲ブラックベリー 卅五チエスト入荷六十仙、三百十七クレート入荷六十仙、四百六十四クレート入荷してクレート七十五仙より一弗にてスロー

▲ラスベリー ラスベリーは入荷相當にあり五十八チエスト千四百六十四クレート入荷してクレート七十五仙より一弗にて市況は平凡、ロガンベリーは六十一チエスト八百廿七クレートにて七十五仙より八十五仙で取引かれた

▲ヤングベリー ウイークにて七十五仙より九十仙で賣捌かれた

▲オウターメロン 今朝箱手堅くして商況多少あり斤二仙

▲フイグ 南加物の入荷多量にしてフラットは卅仙より五十仙ラグ一弗より一弗廿五仙で平凡に終る

▲チエリー チエリー市況は手堅くして、ローヤルアン種は斤九仙より十二仙、ビング種は斤十五仙より十九仙、ブーア物八仙フラットは六仙より八仙

▲ピーチ ピーチはウイークにて六十弗より一弗

▲キャンタループ 市價の開き大にしてジャムボーは三弗五十仙より四弗、スタシガードは弗五十仙より三弗、中加物スタンダード二弗五十仙より二弗五十仙、中加物スタンダード三弗五十仙

▲グレープ 帝原よりのタムソンシードレスはスローにして斤十二仙より十四仙

▲レモン レモンは軟調にして六弗より七弗廿五仙

▲オレンジ ヴァレンシア種は各サイズを通じて六弗より七廿五仙内外と見た

桑港市場 六月 廿三日

果物相場 標準卸値

	單位	價
アプル 蘋 四チ		
ユニット		
ローマン		
エーブリカット	斤	
ピーチ		
プラム		
バナナ	布哇	封鎖
中米	帝國	封鎖
グレプフルツ		
アリゾナ		
コーチエラ		
レモン 飛切		
オレンジ ネーヴアル	小	
ベーキ オレイル	斤	
アヴーカドー		
ストローベリー		
クレート		
ドロワー		
ブラックベリー		
ローガンベリー		
ラスベリー		
チエリー	ビング	
キャンタループ 標準		
ハネーデュー		
ウオーターメロン 斤		
側菊		
タムソン		

野菜相場

	單位	價
アスパラガス		
グリーン		
レタス		
アイス		
フルツ		
ドライ		
蚕豆	袋	
ビーツ	斤	
コーン		
ポテト		
スタクトン 袋入野菜		
ビーツ		
キャロット		
タフニップ	黄	
白		
パースニップ		
サンノゼ		
スクワシ		
スカーロップ		
ズッチニ	百斤	
ポテト		
トメト		
マルセド		
南加		
セロリー	クレート	
キウリ		
ボンナ物	打	
ビーツ		
キャロット		
トニップ	打	
ラディシュ	打	
ピンズ	斤	
ラグ	南加	
カリフラワー	打	
キャベーヂ	百斤	
ペパーナス	地方	斤
スピニッチ	斤	

鶏肉卸商へ

ライブ桑港發

レグホン	大	三仙半
ル・スター		卅仙半
鶏卵相場卸賣		
エキストラ	大	三仙半
モデアム		卅仙半

農界近況

レタースは出荷が盛ん

サリナス、ワツソンビル地方のレタースは最大量の出荷を見てるが、六月中旬までは品質好で、出荷地は市況軟調、普通相場はクレート二弗

アニオン出荷

加州から六月一日より十日までの間に一日平均二十五俵車かから四十貨車宛のアニオンが出荷してゐる。

米國四州の麥收獲豫想 二億ブシエル

一九三〇年の麥收穫豫想が合衆國農事局の調査によつて發表せられた、米國麥生産高の最もなるものはカンサス・テキサス・オクラホマ、ミゾリの四州であるが、この四州に於ける六月初旬生産調査はカ州一億三千七百萬ブシエル、テ州、二千四百萬、オ州三千百萬、ミ州一千九百萬つた。

合計二億一千二百萬ブシエルである、カンサス州では例年大抵七月廿日までに收穫を終るが此年は作業に要する延べ員十九萬名が集まつて居り州内たけの供給は二萬七千に過ぎ餘は外部より輸入せられる、收穫作業には刈取と同時に穀をこき落す聯結收穫機を用ひて居る、此機械によると一收穫期間に二萬乃至五萬人の勞働者を省く事が出來、平均四百五十萬英加の收穫に要する人員は九萬人であるといふ

經濟資料

會社の消息

▲フォアクス社には四月廿六日に終る十七週間に五百七十二萬弗の取益を挙げた。昨年同期の二百九十萬に比して非常な増收である。

▲コロンビヤ、ピクチヤでは一千萬弗の巨費を投じハリウッドのスタヂオを大擴張してゐる

罌粟はなぜ紅い

宇野千代作 (61)

花より脆く (二)

浪江が警察へ出て行つたあの午後から全く四日になる。

一そこに取殘された牧不二明もまだ、別人のやつになつたのであつた。

最初の夜、彼はほとんど眠らずに明した。楽しい夢と苦しい夢、彼の唇の上には、まだあのかすかな浪江の唇のうす甘さがそのまゝに殘つてゐた。その感觸を彼はまだ眠ずめなかつた彼の感情を傷らこなしに、却してそれを遮したのであつた。

間の中に眠をこらすと、その間を食ひ裂くやうなカーキシヨンの眞赤さが、机の上はつきり浮かんだ。だが、それは直ぐ消えた。彼女はこのまゝ歸つて來ないのではあるまいかといふ恐ろし不安が不意に起つた彼の微笑を消したのであつた。

その不安は次第に夢つた。ここへ來て、彼女の持物の中から一つの小さな手帖を探し出した。それには可愛らしい文字で、彼女の持つほんの僅な知人の住所なぞ書き記されてゐたからであつた。お總の住所もやはりそこに書いてあつた。

一夜が明けると彼は畫を待つた。夜まで、きうだ、きつかりの八時まで待たう。だが、彼女は一日經つても歸へつて來なかつた。

彼は夜度をして神戸へ出掛けた。やつとのことで元町の狹い露路の中でお總の家の番地を探しあてたのであつたが、そこは暗に聽いてゐたバン屋ではなかつた。その暗い荒物店の。店明りでやつと見出した標札には、まるで違つた姓が書いてあつた。

一ケ月まへ一軒はばう紛として立藏した。その瞬間、彼の腦裡には、あの日の午後、彼女が彼のためにと買つてきた靴、花、机掛。(あゝ、あれらの忌忌しい品々)のとがやきつくような思ひ出されたのであ

めた、嘘であつた！あの金でお總が拵つて來て與れたといふのはうそであつた！どうしてこんな、露路の中に住んでゐる貧しけな人々が、彼女のために金なぞ持つて來るものか。だが俺はこんな破れ易い子供のやうなうそに、やつといまの氣がついたのだ。やつといまの。

見る見る、彼の顏は蒼ざめた。

一ーでは彼女はどこへ行つたのか。遠い歸りの急行電車の中で彼は狂氣人のやうな眼をしてぢつと一點を見詰めた。彼の感情は憤怒から絶望へ、絶望から極度に悲嘆へと變つて行つた。

浪江！浪江！彼には、かの女の哀れわの嘘へ、いまはたとへやうもなく可哀さうに思はれて來た。なぜ君！、あんな嘘ばかりいつてゝ一そんな。そんな。

大阪船商

船名	出港	入港
倫敦巴里丸	六月十八日	七月十六日
沙美港發	七月十一日	七月廿八日
日本行	七月廿三日	八月廿九日

OSAKA SHOSEN KAISHA
111 W. 7th St., Los Angeles

賢明な人達へ警告！

我儘に襲はれた時は

"其代りにラツキーを攝りなさい"

"來らんさする物先づ其影を投ず"

節制なさい何事にも、煙草も節制なさい我儘を避けて此癌法師の樣になる事を避けなさい。若し皆さんが今のスラリとした流行のスタイルを萬年娘として保ちたいならばラツキーをたすいなさい

皆さんが手にし得る最良の煙草ラツキーストライキは收穫中の最もいゝ煙草をトーストして造つてあります

ラツキーストライキは獨特秘密の加熱製造法で造り升

熱を加へると物を淨化する事は誰でも知つて居る事であり既に二萬六千七十九名の醫師がラツキーは他の何れの煙草よりも咽喉を害する事が少いと云つてゐます

毎木曜日と土曜日夜NBC局から放送するラツキーストライキ・ダンス・オーケストラに樂み下さい

LUCKY STRIKE "IT'S TOASTED" CIGARETTES

"It's toasted"

咽喉を保護し咳を出さぬ

一九二三年度合衆國公衆衛生局統計三八號一二七頁に次ぎの樣に發表してゐる『身長五呎七吋以下の丈の低い男子で普通より二割肥滿した者は三割死亡率を增加し四割肥滿した者は八割增加する』と

ラツキーストライキの愛用が近代的美容を生みまた贅肉を削ぐことは申しません然し皆さんが過度なた食事の攝りたい時。代りにラツーキを召上れば體重の過重の原因である過食を避けることが出來過食を避ける事によつて近代的優雅な容姿を保つことが出來ると斷言し得ます

© 1930, The American Tobacco Co., Mfrs.

N. Y. K. LINE

桑港出帆廣告 日本紀十五日

船名	入港	桑港發
秩父丸	六月廿九日	桑港發
春洋丸	七月四日	六月廿八日
龍田丸	七月十日	六月廿五日
浅間丸	七月廿四日	七月九日
大洋丸	八月廿三日	七月十二日
黒洋丸	八月一日	七月十六日
切符申込は桑港旅館組合へ		七月十九日
シヤトルより月二回定期の客船あり詳細は弊社へ		七月廿二日
桑港マーケット街五五一 電話サター三九〇〇		七月廿四日
日本郵船株式會社		七月三十日
		八月二日
		八月十八日
		八月廿一日

—南米線—

八月一日 (南米行)

TAMURA HOTEL

PHONE FILLMORE 6359
2055 BUSH ST., S. F.

桑港ブッシュ街二〇五五
電話フィルモア六三五九
—(各汽船會社切符取扱所)—

夕 田村ホテル
館主 田村信吉

◎明治十八年二月より今日迄の日、布、米間汽船の發着及び船名の記錄あり
◎再入國パーミット出願、出國手續、其他移民事項一切迅速、丁寧に取扱ふ

DOLLAR STEAMSHIP LINE

311 California St., S. F. Calif.

桑港、羅府、東洋間 (横濱迄十五日)

船名	桑港着	羅府發	桑港發
ジャクソン號	六月十一日	六月十六日	六月十六日
マッキンレー	六月廿五日	六月三十日	七月二十日
グラント號	七月九日	七月十四日	七月四日
クリヴランド號	七月廿三日	七月廿八日	七月十四日
アフス號	八月六日	八月十一日	八月一日
ビアフス號	八月廿日	八月廿五日	八月十五日
タフト號	八月廿日	八月廿五日	八月廿九日

桑港、羅府、東洋間 (横濱迄十五日)

船名	桑港着	羅府發	桑港發
ジャクソン號	六月十一日	六月十六日	六月十六日
マッキンレー	六月廿五日	六月三十日	七月二十日
グラント號	七月九日	七月十四日	七月四日
クリヴランド號	七月廿三日	七月廿八日	七月十四日
アフス號	八月六日	八月十一日	八月一日
ビアフス號	八月廿日	八月廿五日	八月十五日
タフト號	八月廿日	八月廿五日	八月廿九日

ダラー汽船株式會社
電話ダヴンポート六〇〇〇

桑港ブッシュ街二〇五五
電話フィルモア六三五九

桑港、羅府、東洋間 (横濱迄十五日)
乗客荷物、税關手續一般運送業
下町出張所 617 Sansome St., Davenport 7144

桑港運送會社

種子 卸 小賣

本場のギルローイで沿岸日本人中最大の種子生産販賣者たるグロアー種子株式會社

Growers' Seed Co. 681 Gilroy, California
P. O. Box 257 Tel. 47
San Juan B. Calif.

種子 卸 小賣

佛國産セロリー種子
カリフラワー種子
レタス

◎早生
ニューヨーク
ニューヨークスペシヤル古種

其他日米各野菜種子

説明附特價表無代進呈

Hollister Seed Co.
P. O. Box 180 Hollister, Cal.

水探し

農業家の大福音

如何に水の乏しい地方でも最大多量の無盡の水を極い浅い所で探し出す。私の發明の器の入費を省ています。私は探水器の發明者で又探水器も作製し之を水探に用ひます水油が地下に在るその深さが例已に幾千呎でも正確に測定します。

井戸掘りの技を明かに證明

料金 一件五十弗以上

森安丈之助

品質本位で名の高いカルシー印鮑鑵詰を御指定下さい

奥樣方へ

◎夏季御料理

アワビの酢物
アワビの天ぷら
アワビのコンビネーション・サラダ
アワビのふくら煮
アワビの壽司
アワビのスープ及び吸物
(アワビのジュース御利用下さい)

CALSEA BRAND ABALONE

清く澄んだメキシコの海に住む鮑の天與の風味をそのまゝ皆樣のテーブルへ

南加版

輝く旭日に東飛行士の出發

廿二日午前六時十五分 健氣なミセス東

廿二日、日曜日前日の電報により唯一の懸念であつた行手の天候も回復との報をうけた東飛行士は、愈々壯途を決行すべく家人に告げその前夜を自宅なるパシフエアオークのチャプスイに過し朗らかな夢を結ぶアヅマに送り出でられ、家人を保つて悠やかに飛行場に暇もなく曉明四時に起床、家人と共に水入らずで輕い朝食を喫し了るや、直に親友陽野醫伯の呼びもあり一緒に帽子を打ち振り萬歲を連呼するや、ライプで飛行場に向つた。斯て五時四十分メートポリタン飛行場に着けばそこには早や東氏の嘶いを見送らんと、奥武日會長、羅府新聞の駒井氏、羅府日米の鳥内氏、文子、ユニオンオイルの間所氏、赤松弁護士その他知名の士朝野友等三十餘名が待ち構へてゐて氏の自動車を認めるか早く、拍手が送られた。

やがて愛機『東京市號』が格納庫から助手の手により引出されるや東氏はその間に見送りの人達へ愉快氣に談笑しつゝも手は早く動いて飛行服に身をかため、新調のパラシュートを背負ひ機上の人となれば、忽ち砂塵をついて回轉するプロペラの爆音に早くも歐亞飛空の壯快な氣慨が感ぜられ、觀る者固唾をのんで打衛る中を

十分餘りエンジンの調子を調べつかれきつた體をパ市の店に戻るや一足先に歸つた店の人達を飛行ガチの奥深く陣取り四人の身を乘出し、一路高く決別の聲々叫ぶ共に操縦を引けば期せずして拳がつた「萬歲」のさゝめきの中を機はすると一滑走を始めると、見るや、百五十五分より增々高く繁昌して見せるこちらの名札は出鱈目でも、先方の所へ聞いておけば、志

東京號』も見事、操縦により十秒餘にして

輕々と空中に浮び出で

見送る人をして一層前途に對する安心と信頼とを強めしめたが既に百五十メートルの高度に達するや、氣圧の變化を感じ、東氏は早速酸素吸入器を口に當てゝ、奥武の聲を聞くや、直ちに

フレスノ【廿二日】第二期に入つたフレスノ苺の生産

毎日五六百クレーツ

西北諸州に遠距離輸送を試みて成功したフレスノ苺は、六月七日頃より所謂第二期に入り、生産量は例年のとほり減少すべきはずなるに氣候の關係上か本年は今に毎日五百クレーツより百クレーツの出荷あり、例年は第二期金額で三千クレーツ内外にすぎないものが本年は優に七千クレーツ以上に達すべき見込みにあり、高價も他地方の生産減少の影響をうけていたつて良好である。第二期に入つてかゝる好成績はほとんど未曾有であるとのことーなほ序でながら過去三年間の第二期苺の統計を見るに

一九二八年(四萬六千四百三十三クレーツ!總賣上げ高八萬五千八百八十七弗十二仙)
一九二九年(四萬一千百五十一クレーツ!總賣上げ高七萬七千百五十九弗七厘)
一九三〇年(三月廿五日より六月七日まで)
六萬五千四百三十九クレーツ
この總賣上げ高十一萬五千二十七弗九十七仙

すなはち一クレート平均一弗七十五仙七厘の割合で、本年の平均に比し相當の増收である。さらに西北諸州への遠距離輸送費敢をあはせてみると

一九二八年　二十三貨車
一九二九年　十六
一九三〇年　二十四

かくて生産量が増加するは組合員の増加に從ふ自然の結果であり、而も組合の運用よろしきを得て良好の成績をあげつゝあるは加州でもつとも古いもつとも長い歴史を有する、フレスノ苺組合のほこりと申すべきであらう

ボールス

▲卒業式と學藝會　來る廿八日(土)午後七時よりボールス學園の本年度卒業式を左のプログラムにより行ふ

開會辭　司會者　▲米國々歌　一同　▲學事報告　細田教師　▲證書授與及び訓示　内藤學園長　▲祝辭　女青會　▲親和會　父兄會各代表　▲送辭　卒業生代表二名　▲答辭　卒業生代表二名　▲朗石の歌　一同　▲閉會

引續き學藝會にうつり識方　暗誦　唱歌　對話　遊戯　書方　合唱　劇　話方　演說

等四十一のプログラムがあるなほ卒業生は

中等科二年生和田滿子　雖波勇
三宅重人　熊谷嘉一　高橋直
初等科八年生　新川秀夫　奥田
トミ子　山際初枝　西本秋江
二宮シズエ

飯野氏追悼會

本夕紙合教會に裏打瀧教師

デルレー

▲盛大な卒業式　デルレー學園の卒業式は去廿五日人民同會下にまた福田直君司會の學藝會和歌山市のプラクリ町(をかなしな名でせう)をプウーふかいたるところの工場は一時中止し一員半減、物價下落、勞働口拂のストライキ、之を思へば、不景氣の中でも在米の

▲當礎は幸福なものです、さてまた山本(孝夫氏)夫人が歸國のの土産として私にオプチモ、シガーをくださいました、私が大ものはありません、學校小供なども皆私の前に來て一心に煙の出るのを見てゐます、そしてその一人があるとき「おちさん、それは

▲お菓子から　煙が出るのかい

と問ひましたから委しく說明してやりますと、その後その子供はいつも私にあふとハツトを

■不思議な話　をして氣を眺めます、十人が十人です、そのはずです和歌山あたりの田舍市で

■眼ふた結婚式　檢眼醫高橋藏次郎と山本つる嬢との結婚式はヒイツシアー博士および小田教師司式のもとに去る二十一日午夜、夢幻米人組合歌會において

■新郎　高橋、山本兩家を祝福し敬

■答辭　■米國々歌　■來賓代表　■祝辭　■出席者　■學事報告　■卒業證書授與　■內本學園長　■內本教師　■訓辭　■加藤米子　■加藤米子　■局　■村佐勝氏　■中村佐勝氏　■生徒一同　■司會者　■司會者　■君が代　■來賓代表　■祝辭　■來賓代表　■祝辭　■來賓代表　■祝辭

サクラメント【廿三日】

支社 電話 メール三〇六六

救世軍の山室さん講演會

來る廿五日午後八時より アメリカンセンターにて

日本救世軍總司令官の山室軍平十日の未明には第一街と第二街の角なる米國救世軍創立五十周年記念會に出席の歸途太平洋沿岸各地を巡歸中なるが、明二十五日ポートランドより來演するので、當市では午後六時よりゼー街の白人青年會館で歓迎晩餐會が催ぜられる。講演は同じく左のごとし

▲午後二時よりウオナフグローブ河下ホールで、廟奠式を挙行

▲午後八時より櫻府アメリカンセンター教會堂で救世軍櫻府小隊主催、市内各教會後援の下に山室軍平氏の講演

▲午後八時より櫻府アメリカンセンター教會堂で救世軍櫻府小隊主催、市内各教會後援の下に山室軍平氏の講演

盛夏の候に寒さ續きで

水菓子店泣かせである

猛暑祭も近づいた盛夏の候ふのに、櫻府は四五日前より寒さ續き、廿三日なる最低溫度五十一度沿岸諸都市の中で一番寒く、低下した。併し測候所では暖氣の昇りつゝあり、明日ならずして再び暑氣襲来するであろと報じてゐる。

夜間辻强盜 遭難者續出

酔漢で暗闇を歩くな

昨今夜間の歩行者が辻强盜に襲はれること頻々たるものあり。十日は宵の十時ごろ第四街で當安社の向ひ側で襲はれ、大なる金物に鎖はれた白人青年が、第二街で一白人が三名の辻强盜に襲はれ大怪我してゐた。去三

狂ふた奔馬を馬車に飛び乘り

停車させた同胞青年

昨二十一日午後一時頃市内第四街ニューイーグル藥店側に所在なげに止まつてゐた支那人洗濯屋の馬車が、何に驚いたか、突然狂ひだして駆け出し、馬車の御者は、今のところ現在帯一郎なる同胞青年を忽ちその馬車に飛乗り手綱もなく第四街よりオー街に狂ひ奔る馬車に怜悧な御者のごとく駆けつてゐたが、オー街モーリス銀行前で漸く停車させたのは手柄であつた

井木ドクター庭園パーティー

ほうづき提灯華やかに

當市、井木ドクター夫妻はパクレ市から母堂、シャトルから令妹かね嬢、廿二日同市醫師邸宅に知友を招き午後八時よりガーデン、パーティーを催した。その夜は少し寒かつたが紫藤花や薔薇美しく咲いてゐた庭園はほうづき提灯華やかに輝いて四邊の緑葉もあざやかに彩られ歓談弾のごとく愉快な会であつた

櫻東大地震 被害者續出

昨夕櫻東大地震の第一報は、櫻東大地震の第一報は、櫻東大地震の第一報は、

The Largest English Section Published Daily by Any Japanese Paper On This Continent

The Japanese American News

THE LARGEST JAPANESE NEWSPAPER PUBLISHED OUTSIDE OF JAPAN

A Newspaper For All Peoples Interested in the Welfare of Japan and The Japanese People

NUMBER 11,011. Entered at the San Francisco Post Office as Second Class Matter. SAN FRANCISCO, CALIF., TUESDAY, JUNE 24, 1930. Copyright 1930 By the Japanese American News Per Year $11.00 Per Month $ 1.00

RITES UNITE BAY LEADER AND S.F. GIRL

Dr. Fisher Ties Knot for Miss Yamamoto, Henry Takahashi

Special to The Japanese American News

BERKELEY, June 32.—The wedding of Miss Barbara Tsuru Yamamoto, popular San Francisco girl, and Mr. Henry M. Takahashi, president of the New American Citizens' League of that city, took place Saturday night at the First Congregational Church, Dana and Channing Way, Berkeley, in the presence of some five hundred friends and relatives.

Dr. M. Fisher officiated with the assistance of the Rev. Mr. N. Oda, pastor of the Berkeley Japanese United Church.

The spacious chapel was beautifully decorated in green and white, with the altar set off by a bridal arch of white flowers against a green background.

Miss Yuki Furuta gave a beautiful vocal selection before the bridal procession started.

The bride was given in marriage by Mr. Yamamoto, her father, and she was attended by her sister, Mrs. H. Kato, as matron of honor.

BRIDAL PARTY

In the bridal party were the bridesmaids, Miss Chizu Yamashita, Miss Grace Takata, Miss Ruth Takahashi, and Miss Sumile Morishita.

The bride wore a white satin gown which fell in long graceful folds. The veil of tulle was caught up with a pearl band, and tied in the back with ribbons. She carried a gorgeous bridal bouquet of gardenias and lilies of the valley.

The matron of honor wore a light green chiffon gown. The bridesmaids all carried rose bouquets and wore chiffon gowns of pastel shades.

The flower girl was little Miss May Kishi and the ring bearer Master Kiyoshi Takahashi.

The bridegroom was accompanied by his elder brother, Mr. George Takahashi, as best man. The ushers were the Messrs. George K. Togasaki, William Takahashi, Joseph Hikida, Akira Hayashi, and Dr. Hajime Uyeyama.

RECEPTION

Following the ceremony, a light reception was held in the church social hall. With Mr. George Togasaki acting as toastmaster, the bridal couple were introduced and congratulatory addresses were delivered by prominent Bay Region people. Among the speakers were Miss Chizu Yamashita, Mr. Hashioka, Mr. K. Abiko, and Mr. K. Kato. Mr. James Hirano read the telegrams of congratulations.

Mr. George Furuta, young Oakland baritone, gave vocal selections.

The refreshments were served by the Misses Yoshie Togasaki, Yae Ohara, Yae Togasaki, Ruth Morishita, Grace Iida, Lillian Iida, Chiye Nakayama, Fumi Yanagisawa, Miki Ichio, Yoshie Yamamoto, Yuri Negi, Mary Takahashi, Shizu Negishi, Sada Onoye, Yone Hirano, Teru Togasaki, and M. Yamashita.

The baishakunins for the union were Mr. K. Abiko, editor and publisher of The Japanese American News of San Francisco, and Mrs. Abiko.

OFF ON HONEYMOON

The bridal couple are now on their honeymoon at Yosemite National Park. They are expected to take a trip to Lake Tahoe following their return. They will make their home on McGee Avenue in this city.

Mr. Henry Takahashi is the second son of Mr. and Mrs. Chiyokichi Takahashi of this city. As chairman of the Northern California Japanese Young People's Christian Conference and as head of local Japanese American citizens' league, he is regarded as one of the leaders in the affairs of the second generation group of this section. He is practicing optometry at his office on the corner of Laguna and Post streets, San Francisco.

BRIDE IS ALSO U.C. GRAD

The bride is the second daughter of Mr. Yamamoto of San Francisco. She is a graduate of the University of California School of Nursing. She is a past president of the Japanese Women Students Club of the university.

Mr. C. Takahashi, father of the bridegroom, paid a formal call upon Mr. and Mrs. K. Abiko Monday morning to express his appreciation for their efforts as baishakunin.

Miss Helen Matsuda, Valedictorian of Watsonville Union High School Talks on U. S. Culture Background

Special to The Japanese American News

WATSONVILLE, June 23.—For the first time in the history of the Watsonville Union High School, a Japanese girl, Miss Helen Mineko Matsuda, the first ranking student of the senior class, delivered the valedictory address at the commencement exercises given at the Appleton Theater on Friday evening.

Miss Matsuda chose as her subject "The Royal American Heritage."

"The American nation," said Miss Matsuda, "has drawn from every race in the world, each of which has contributed something to the building of this commonwealth.

"From Ireland comes a sense of humor and a delicate and spiritual mysticism. From the Slavonian nation comes enterprise, from the French a refinement of living, and from the Orientals love of justice, the spirit of sacrifice and modesty.

"America has used to good advantage all of these nobler traits from other lands and will continue to do so to even greater advantage in the future."

Miss Matsuda's fifteen-minute speech was eloquently delivered, and it received prolonged applause from an audience of about 1500 people.

Miss Matsuda and Frank Sakata are the two Japanese students who received scholarship pins and gold seal diplomas.

SANTA BARBARA MAN, 76, TOKUGAWA'S OLD CHUM

Recently a white-haired old gentleman walked into the Japanese Consulate and earnestly asked for a meeting with Prince Tokugawa when he arrives on the Pacific Coast.

The gentleman was George Bachelder, a Santa Barbara citizen who is celebrating his 76th birthday this year. He had read about the coming of Prince Tokugawa in the Japanese American Section.

Mr. Batchelder's special interest in Prince Tokugawa dates way back to the first days of the Meiji Era. In fact they played baseball together long ago. And this is how it happened.

In the second year of Meiji, 1869, he went with his father, who was a shipbuilder, to Japan.

OLD JAPAN

In those days Tokyo was still called Yedo and Japan was still the Japan of the wood prints. Mr. Bachelder landed in Shimoda and went straight to Yedo.

In 1873 his father built a new foreign style home in the Chikuji district which became the center of attraction. Later this home became the residence of the American envoy.

At the age of 13 he entered the Daigaku Nanko and studied Japanese. The thing that he dwells upon with most pleasure is the event of all events, the time that he played baseball with Prince Tokugawa Iyesato, his senior by a few years. Batchelder was the pitcher and the Prince was the batter.

The venerable gentleman gives a vivid description of the Prince. No uniforms were to be had and the Prince wore the formal "kamishimo" of Old Japan and the two swords of the Samurai. Great vigilance had to be exercised by the samurais in attendance as the future shogun must not be hit by a stray ball according to samurai ethics. The youthful pitcher thus had a doubly difficult role, to throw the ball so that the Prince could bat it and at the same time throw it far enough away so that the attending samurais need not worry.

In 1880 Batchelder returned to the U. S. In 1906 he passed through Japan again on a world tour but the old Japan of his boyhood days was gone. In his disappointment, Batchelder felt, and still feels, that he would never want to see the new Japan of the new era. Far rather would he keep the beautiful memories of Old Japan unspoiled in his mind to brood over and enjoy.

Alameda Church High School League Hears J. Hirano

Special To the Japanese American News

ALAMEDA, June 23.—Religious faith as a factor in the promotion of human happiness was stressed in a talk given by James Hirano, San Francisco business man, on Sunday evening before members of the High School League of the local Japanese Methodist Church, South.

Summing up the requisites of a truly happy man, the speaker declared that one must grow in wisdom, stature, and in favor with God and man. Of these four, he said, the spiritual growth of man in his constant strife against material bondage is most important.

Miss Haruko Nakata acted as chairman of this last meeting of the High League. The Scripture was read by Miss Nellie Itahara, president of the society. James Hanamura, new advisor, offered the prayer. The main speaker was introduced by Haruo Imura.

Prince Tokugawa in Victoria Declines to Talk Politics

Special To the Japanese American News

VICTORIA (B. C.), June 23.—While declining to discuss the controversy between the Government and the Navy in Japan over the London naval treaty, Prince Iyesato Tokugawa, president of the Japanese House of Peers, who arrived here Saturday, said "World peace can never be assailed with the United States, Great Britain and Japan standing together."

He will address the Rotary international conference in Chicago sometime this week.

JUNIOR AND SENIOR CLUB

Matsuko Konomi, P. O. Box 62, Pescardero, Calif., is 11 years old on June 24. Birthday greetings, Matsuko!

Alice Takahashi writes to us today. She says, "Aunt Mia, are you learning the Japanese language as Obasan is? I hope so as you will have a nice time learning. (Yes, Alice, Aunt Mia is trying to learn Japanese and is having the time of her life trying to learn to speak and to write.)

"Here are some jokes:

A professor attempted to teach a class of small boys this quotation, "Be not afraid, it is I."

The next day he asked Sam to repeat the quotation he learned yesterday. Sam said, after thinking awhile, "Don't git skeered—T'aint nobdy but me."

Employer: "What can you do boy?"

Boy: "Anything, sir."

Employer: "Can you wheel a barrow full of smoke?"

Boy: "Sure, if you'll fill it."

—Junior World

Thank you, Alice. Please write and tell us about your summer vacation.

Another little niece, Julia Inai of Rt. 2, Box 21, Vacaville, Calif., sends us some jokes.

Teacher: "Who can name one important thing we have now that we did not have one hundred years ago?"

Tommy: "Me."

A GRAVE MISTAKE

"Hello! I want to order a box for tomorrow."

"What size?"

"There will be six of us in the party."

But they only come in single sizes—we'll have to have it made special."

"Is this the Orpheum?"

"No, this is the undertaker."

NOT TO BE CAUGHT

For a joke a man asked a young assistant in seed shop for some sweet potato seeds. The assistant could gnd none, and finally appealed to the manager. The latter explained that he was having his leg pulled, and cautioned him about being on his guard in the future.

A few days later a woman entered the shop asked for some bird seed.

"Ah!" grinned the assistant, "you can't fool me. Birds are hatched from eggs."

"I got these jokes from a little pamphlet called New Stage Jokes."

"I must close now so good-bye and a happy vacation to you." (Thank you, and the same to you, Julia.)

Let us give special welcome today to Marie Kawamura, Rt. 2, Box 814, San Gabriel, Calif. She is 10 years old and her birthday is February 24.

Let's also welcome Gwendolyn Kazuko Ino, 45 Upper Terrace, San Francisco, Calif. She is also 10 years old and her birthday is July 17.

Marie says, "I wanted to ask you if I can join your club. I have been wishing to join for two years." (Of course you may, Marie, you are very, very welcome.)

Both Marie and Gwendolyn would like to have the members write to them.

Do you remember that Aunt Mia said yesterday about having a big Sunday Junior and Senior Section? and about having pictures in our section just like the grown ups? Please keep that in mind, especially as you go on your vacations, and send in any well taken snapshots or photographs. Think of it! Pretty soon we will be able to actually see each other! Wouldn't that be grand?

Aunt Mia

MCKEOWN IN S.G. SURVEY AT FRESNO

Japanese Aid Sought In Work Opened by Carnegie Body

Special To the Japanese American News

FRESNO, June 23.—The occupational survey of the Japanese, including the first generation and second generation, has begun in Fresno and Central California, under the charge of R. Bruce McKeown, one of the group of people engaged in the survey work for Stanford University which has been endowed with the necessary finance by the Carnegie Funds.

The purpose of this survey is to find out the true condition of the Japanese people and to see if assistance can be rendered to help the Japanese solve some of their knotty problems.

Mr. McKeown was a high school teacher in Colorado and came to Stanford University to study for his Ph. D. degree. He received his master's degree some time ago. He will teach as part time instructor at Stanford this fall.

McKeown will begin the survey in Fresno and will gradually extend his investigation into the country districts. He will probably be accompanied by an interpreter.

The Japanese are asked to cooperate in this survey as the result of the survey is to assist the Japanese themselves.

Some of the questions which will be asked of the first generation are: name, address, year of birth, where born, years in Japan, Hawaii, in U. S., or elsewhere. Speak, read, and write Japanese? Attend grammar school, high school or college? Number of children living in U. S., in Japan, elsewhere, number of other dependents.

Other questions will be: Father's occupation in Japan, your present occupation. Previous occupations. Why you quit them. Has the fact that you are a Japanese affected choice of occupation? Do you own your home, business, farm? Where?

The chief interest is on the occupational survey of American-born Japanese, especially children over 14 years of age.

QUESTIONNAIRE

The first part of the questionnaire is similar to the questions asked in the first generation questionnaire about age, birthplace, and schooling.

Other questions are: How long have you attended Japanese language school? Will specialize in what study? Occupations engaged in since leaving school? Occupation you are planning to enter? If you could earn $50 a month or more, would you go East? If you could do just as you please, what occupation will you be in at 35?

These questions may seem unimportant and trival, but to Dr. E. K. Strong, head of the vocational phychology department at Stanford, and who is the chairman of this extensive Japanese survey, the answers to these questions will help to reveal the attitudes and conditions of the Japanese. This, in turn, will be of mutual benefit to the Japanese as a whole.

GAKUEN GRADUATION

The annual gakuen exercises of the Fresno Japanese school was held Friday night, June 20, at the Congregational Church. A packed audience witnessed the interesting program of skits, reading, recitations, songs, and a play, "King Lear," in two acts.

The primary children with their captivating, child-like way of singing and dramatising their songs, won the hearty approval of the people and was the source of much merriment to the older people.

The program as a whole was excellently prepared and went on without a hitch. The artistic scenery on the stage was the source of favorable comments.

At the beginning of the program, Mrs. S. Abiko and Mrs. H. Aki made reports. Rev. J. K. Fukushima gave the honor certificates to the brightest scholars and to those who were not absent from school for the whole school semester. Mrs. Fukushima gave the awards.

Refreshments of soda water and ice cream were served at the close of the program.

CONGREGATIONAL PARTY

The mothers of the Fresno Congregational Japanese Language School held a party in honor of the students, Saturday night, June 21, at the Congregational Church. Various games were enjoyed and refreshments were served later in the evening.

Y.W.B.A. of Parlier Gets New Officers, Plans Initiation

Special to The Japanese American News

PARLIER, June 23.—Miss Shigeko Nagare was elected president of the Parlier Y.W.B.A. at a meeting held which closed the club's activities for this semester. At the meeting it was also definitely planned to hold the initiation party on July 4.

The other newly elected officers are:

Miss Misa Sonoda, vice-pres.; Miss Helen Ogami, sec.; Miss Mae Matui, treas.; Miss Alice Tanaka, ass't treas.; Miss Kimi Takano, athletic mgr.; and Miss Mae Matsui, Sunday school mgr.

Waseda U. Makes Swimming Record

Special To the Japanese American News

TOKYO, June 23.—A new world swimming record was established today when the Waseda University relay team covered the distance of 800 meters in 9 min. 30.4 seconds at the Tamagawa Pool here during an intercollegiate meet.

The team consisted of Miyamoto, Takebayashi, Kiyomasa, and Yoneyama.

The new record toppled the one established at the World Olympic Games held last year in Amsterdam.

Pasadena Birdman

CITY OF TOKYO now carrying Z. AZUMA on the first lap of his eastward flight around the world

STOCK'N GIRL BEE LEADER

Capable Cabinet Aids Work of President Miss Kamachi

STOCKTON, Calif. June 23.—Miss Mary Kamachi, a star basketball guard, was elected president of the Busy Bee Club on June 20th at its semi annual election. The former president, Thelma Hisako, expressed her sincere gratitude for the cooperation of the members which ended her term successfully.

The following are the active girls elected in the cabinet:

Mary Kamachi, pres.; June Fujishige, vice-pres.; Violet Oshima, rec. sec.; Isabel Kunii, corres. sec.; Thelma Hisako, treas.; Lillian Tsurumoto, ass't treas.; Umeko Tateyama, Annie Kunii, serg.-at-arms; Catherine Matsumoto, ath. mgr.; Rosie Hagio, Annie Kunii, yell leaders; Rosie Miyata, Dorothy Matsumoto, Little Bee's advisors.

Rev. Sasaki deeply impressed the members with his talk on upholding the honor of Busy Bee Club and on striving to better the club in every way.

An interesting schedule for the season has been planned. The members are looking forward with much interest to the October conference which will be held in Stockton and will be combined with the Northern California Y.W.B.A. and Y.M.B.A. League.

Shimura Brothers in Doubles and Singles Net Match Victory

The Shimura brothers came out overwhelming victors in Sundays game at the Catholic Filipino Club tennis courts.

In the doubles the Shimura brothers defeated Calso Quinto and Frank Luzuriuga of the Filipino Club by a score of 6-3, 6-3, 6-1.

In the snigles Fred M. Shimura defeated Celso Quinto by a score of 6-3, 6-4.

Nobuo Shimura defeated Frank Luzuriuga by a score of 6-3, 6-2.

COOK SUES GIRL SEER

Japanese Is Swindled $2,397 by American Fortune-teller

Henry Miyaki, a Japanese cook, 1562 Geary street, filed complaint today at the local police station against Miss Mary McGrew, fortune-teller 802 Fell street, charging her with grand theft amounting to $2379.

According to the police reports, the Japanese was advised by the fortune-teller last year to purchase some stocks. He invested the above mentioned amount in stocks of Dominion Mfning Co., and others. The stocks were bought through the defendant fortune-teller. He paid twenty-five cents a share.

Miss McGrew, the report says, sold 100 of these shares to one Mary Moynahan, 590 Castro street, at a rate of twenty-five dollars a share, paying $25,000 in cash. The fortune-teller was arrested last Saturday.

U. I. Members of San Bernadino Have Good Time

Special to The Japanese American News

SAN BERNADINO, June 23.—The members of the U. I. Club of this city had a grand time diving into the Y.W.C.A. pool and roasting weenies at the Griffing home, at the meeting held on Monday evening, June 16.

After the weenie bake, a business meeting was held in which the club planned to hold a Mother's Tea party on Sunday afternoon, June 29, at the home of Mrs. Griffing.

U. S. TRADING WITH JAPAN

Silk, Cotton, Camphor Tea, Art Goods Are Main Imports

By T. ONUMA

The mutual interdependence of nations is one of the most salient and significant facts of modern history. It is nowhere more obvious than in Japan's trade relations with the United States. In regard to no other two countries does commerce react so steadily and favorably on national feeling and goodwill.

Trade between America and Japan has now developed to such proportions that not only is Japan the United States too is Japan's foremost significant aspect of those relations is neither the value nor the volume of trade, so much as the reciprocity of benefits implied.

Japan's leading industries are the production of silk and the spinning and weaving of cotton; yet Japan cultivates scarcely any cotton to feed her mills, but America comes to the rescue by not only supplying the raw cotton but by taking silk in payment for it. To be able to sell her silk in the same market in which she purcheses her cotton is an immense advantage to Japanese trade, finance and industry.

35 Per Cent Silk Sold to U. S.

Some ninety-five per cent of Japan's silk finds its market in the United States, while more than forty per cent of Japan's raw cotton is derived from America. How dependent Japan is on the American market in this respect may be seen from the fact that in 1927 the value of her cotton imports from the United States amounted to 343,563,000 yen, while America paid to Japan 720,000,000 yen for silk, nearly twice as much as Japan paid for cotton.

Thus the rapid development of industry in both countries, instead of clashing competition, has rather produced mutual interdependence and good feeling. The two nation's understand each other metter today than at any time in the past and evince an ever increasing interest in each other's welfare.

This is not to say that Japan is satisfied with America's laws in regard to the immigration quota, of which she could not approve without loss of self- respect. She lives in hope that the American sense of justice and fairplay will in time eliminate this discrimination against Japan and the Japanese race. But the mutual prosperity of the two nations is such that every intelligent citizens of the two peoples is more or less conscious of it as an important fact.

REACTION IS QUICK

Indeed anything that effects America now finds prompt reaction in ton crop fail, or the silk market Japan. Should the American cotdrop, Japan is at once financially disturbed if not embarrassed; the prosperity of the United States has enabled that country to increase its purchases of Japanese silk by 700 per cent in the last fifteen years; and the demand for Japanese cottons in Asia has enabled her keep up steady purchase of American raw cotton.

The Japanese farmer is producing more and more silk to clothe and beautify American women among whom this delicate fabric has largely displaced wool; and the American woman, in turn, is giving the Japanese farmer and sericulturist better wages and a more comfortable living.

Turning from major to minor commodities, it is evident that Japan supplies most of the camphor used in the United States, and a very large proportion of the tea as well. Beautiful Japanese porcelains, lacquers and curious adorn American homes.

JAPAN BUYS MACHINERY

One-third of Japan's total foreign trade is with the United States, including forty per cent of her imports of machinery and a large proportion of her structural steel and electrical equipment as well as 68 per cent of her timber. The imposing quakeproof structures now rising to restore Tokyo and Yokohama are ribbed with American steel, though British and Belgian steel are also doing their share. Japan imported 6000motor cars from America last year; and ninety-two per cent of all the cars in Japan are American make.

The interdependence of the two nations in trade is unquestionable; and all Japanese earnestly trust that the result may be an interdependence of spirit and mutual confidence sufficient to establish in time a racial reciprocity at least equal to that of commerce and trade.

—The Japan Magazine.

BUILDING GOES MODERN

By GLENN FRANK

Modernism in architecture is not the lunatic venture some seem to think it.

A while ago I stood with a friend before an ultra-modern office building in New York.

It was modern to a marked degree in its prodigal use of glass.

It was innocent of buttresses that might have made it a Chartres of commerce.

There were no massive columns to remind us of Grecian glory.

There were no narrow windows to mask its internal rush with the delusion of monastic calm.

It boasted no Gothic spires to suggest eyes lifted heavenward when they were really turned earthward in quest of profits.

It displayed no arches to suggest plutocracy at prayer.

I loved it.

My friend loathed it.

"Why," he asked, "must we forever fall so far below the architectural genius of the mediaeval makers of cathedrals and regal palaces? I suppose it is because we think only of utility while they thought of beauty."

My friend is, I think an admirable illustration of a peculiar blindness that marks our generation.

He is smitten with a nostalgia for departed glories and is wholly insensitive to the dawning beauty of our own time.

The makers of the great cathedrals were not evalted dreamers who scorned utility; they were simply good and great workmen who used the materials they had to the best possible advantage for utility as well as for beauty; in short, they did exactly what our modern architects are doing. As far as I can see, even the creators of a Chatres never sacrificed utility for beauty.

The tresses we admire were to strengthen the walls; they were not added for beauty's sake.

The alluring arches were necessary to hold up the roof; they were not designed first for beauty's sake.

The windows were small that the wall might be strong and that defense might be easier.

To ape these features of an older architecture in a day when we may build vast and soaring buildings around a steel skelton, when we may have safety and strength with a thin wall of brick, when we may substitute aluminum and light alloys for the bronze and cast iron of an earlier time, when we may make walls almost wholly of glass that give us access to the health-giving rays of the sun, is sheer pedantry and ancestor worship.

If we keep our eye at once upon utility and beauty, while taking full advantage of the latest knowledge of structural materials and design, we shall do for our time what the cathedral builders did for theirs.

Copyright McClure Newspaper Syn.

L. A. AVIATOR IN ARIZONA IN 1ST STOP

ZensakuAzumaStarts Successfully on World Hop

Special To the Japanese American News

HOLBROOK, Ariz., June 23.—Zensaku Azuma, Japanese aviator who took off from Los Angeles Sunday on the first leg of around-the-world trip, landed on the Holbrook airport at 12:10 p.m. yesterday.

Azuma spent the night here. He said he will hop off for the East at 6 a.m. today. The Japanese flier told airport officials he was not decided on his next scheduled stop, but that it will probably be Albuquerque, N. M.

TAKES OFF ON SUNDAY

LOS ANGELES, June 22—Zenku Azuma, who earned his money with a Hollywood chop suey cafe that he might buy an airplane, took off at 6:45 a.m. today on the first leg of a good will around-the- world trip. Azuma also took off last Sunday but was forced to return because of adverse weather conditions.

Scores of friends were at the field today as Azuma began his flight with the blessings of Buddhist priests in ceremonial robes. He expected to stop at Kingman and Winslow, Ariz., then fly to New York, where he will ship his plane to England; from there he will fly to Tokyo via Siberia.

Azuma was a mechanic in the United States Air Corps during the World war. He has been flying since 1920.

NEWS REACH TOKYO

TOKYO, June 32.—All the evening newspapers of Tokyo today published the news of the flight of Z. Azuma, Los Angeles Japanese airman, who left Los Angeles, California, on Sunday, in his sensational flight. It is attracting the attention of the entire Tokyo populace.

Church Federation Will Open Vacation School in Monterey

The fifth annual summer school of the Northern California Church Federation will be held in Monterey, California, from July 12, Saturday, to July 18, Friday.

The Rev. S. Oishi of the Dinuba M. E. Church, South, is the principal of the school. Miss Sumile Morishita of Berkeley is the young people's councilor.

The other officers supporting principal Oishi are: the Rev. S. Ashina of the Sacramento Presbyterian Church, pastor; the Rev. H. Takahayama, clerk; the Rev. N. Oda of the Berkeley United Church, secretary; Mrs. Y. Isokawa, councillor for boys; the Rev. J. Fujii of Alameda, treasurer; and the Rev. Y. Kadoike of Monterey, correspondent.